

平成26年度財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ① 建 物……定額法(該当なし)
- ② 什器備品……定率法(該当なし)

(2) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借り主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

なお、リース物件は1件あり、再リース中。

(3) 消費税等の会計処理

税込経理方式を採用している。

2. 会計方針の変更

会計方針は発生主義によって計上しており、変更はない。

3. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残額は次のとおり。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	10,000,000	0	0	10,000,000

4. 基本財産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	備 考
基本財産 定期預金	10,000,000	三菱UFJ信託銀行名古屋支店

5. 特定資産「登録意匠デジタル化積立資産定期預金」について(詳細は、6参照)

・特定資産の明細(平成 26 年度中の動き)

(単位;円)

資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
登録意匠 デジタル化 積立資産	4,696,395	0	4,696,395	0

6. その他の固定資産「陶磁器意匠データベース(食卓台所用品)」について

当法人設立以来の継続事業である「意匠保全事業」において保全登録された意匠(食器、ノベルティ、タイル)約 18 万件の紙媒体データのうち、食卓台所用品約 8 万件の保全登録証(控)を電子化し、検索キーワードを付したデータベース構築を行うため、平成 25 年 3 月期に、特定資産として「登録意匠デジタル化積立資産定期預金」953 万円を設け、平成 25・26 年度事業として実施した。平成 27 年 3 月、システム構築・電子化作業・検索キーワード設定作業はほぼ完了し、平成 27 年度中の公開に向け、平成 27 年 6 月から DB の試用を開始する予定である。

このデータベース構築に要した 953 万円を、資産管理の立場から、当該データベース取得額として「その他の固定資産」に、その見返り額同額を「固定負債」に計上した。

7. 「建物」勘定及び固定負債「資産見返り額」勘定について

「建物」勘定は現在入居する「日本陶磁器センタービル」(昭和 33(1958)年 4 月起工、同年 12 月完成)の建設費の本財団負担分に関わるものであって全額償却済みだが、備忘価額として表示している。当該ビルの管理は一般財団法人日本陶業連盟が行っている。

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 保証債務等の偶発債務

該当なし

10. 重要な後発事象

特になし

以上